



東京海上グループは、アジア太平洋地域において、マングローブ植林プロジェクトに継続的に取り組んでおります。

株主のみなさまへ

第18期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

To Be a Good Company



TOKIO MARINE

東京海上ホールディングス株式会社

目 次

新CEOインタビュー	2
事業の経過および成果	3
連結経営成績および通期業績見通し等	5
トピックス	7

証券コード：8766

株主のみなさまへ

本年6月の株主総会の後に、グループCEOに就任いたしました小宮でございます。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

株主のみなさまのご期待や負託にしっかりと応えられるように、企業価値を一層高めるとともに、成長し続ける良い会社、" Good Company " をめざしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、一連の台風で水災や風災にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

私共も、グループを挙げて被災地の支援に取り組むとともに、被災された方々に一日も早く保険金をお届けできるよう頑張っております。

取締役社長 グループCEO

小宮 暁

To Be a *Good Company*

新CEOインタビュー

Q1

新CEOに就任した抱負をお願いします。

A1

グループCEOとして先頭に立ち、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう、企業価値をより一層高めるよう努めます。そのために、全世界で社員の熱意と叡智を結集し、グループ一体でさらなる成長に向けて挑戦し続けていきます。

Q2

東京海上グループを、どのようなグループにしていきたいですか。

A2

どのような時代にあっても、お客様や地域社会の " いざ " を支え続けられるよう、「しなやかで、たくましい会社」をめざしていきます。その結果として当社も成長し、次の100年もステークホルダーのみなさまから真に必要とされる " Good Company " を実現してまいります。

■ 事業の経過および成果

■ 東京海上日動における取組み

東京海上日動は、最先端のテクノロジーの活用に取り組んでいます。一例として、保険金のお支払いに関連して、ウェブ上でお客様と様々なデータの共有を可能とするプラットフォームを構築しました。これにより、お客様に書類をご郵送いただくお手間を解消するとともに、迅速に保険金をお支払いすることをめざしています。今般の一連の自然災害に係る保険金ご請求のお手続きに際しても多くのお客様にご利用いただいています。



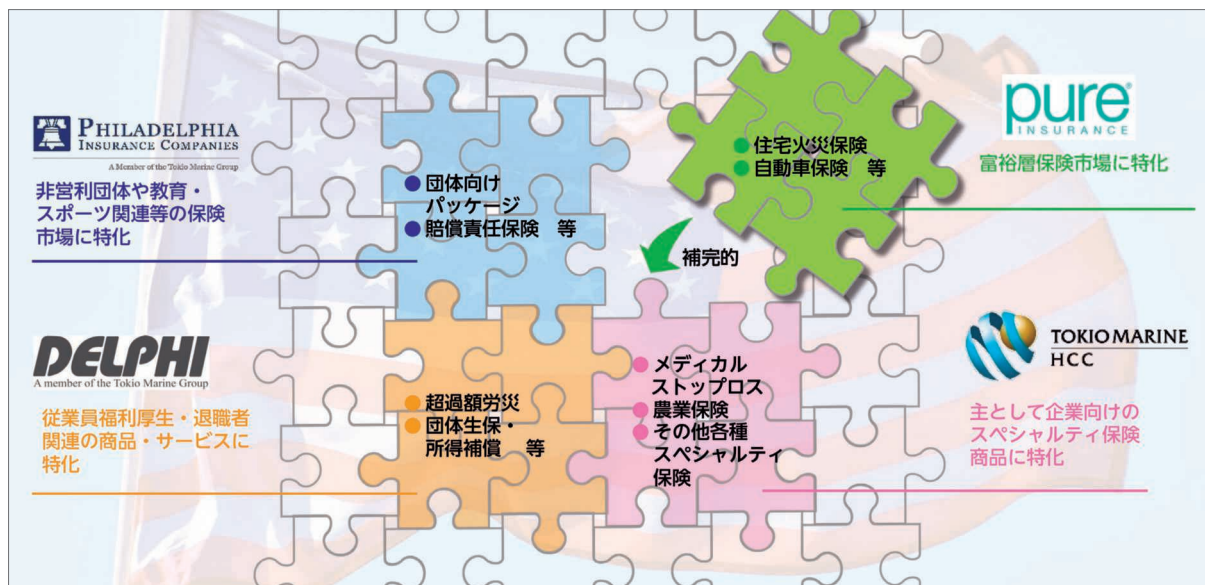
■ あんしん生命における取組み



あんしん生命は、就業不能、介護等の分野に保障を提供する「生存保障革命」を推進しています。本年7月には、ステージⅢ以上等の重篤ながんと診断された場合に、がんゲノム医療等の高額な医療費に備えられるよう、死亡保険金相当額をその時点でお受け取りいただくことを可能とする特約を新たに設けました。

■ 海外における取組み

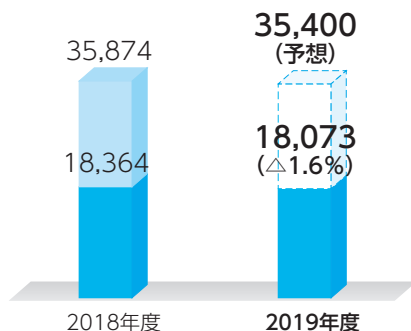
東京海上グループは、本年10月に、米国のプリビレッジ・アンダーライターズ社および傘下の子会社(以下、あわせて「ピュアグループ」)を買収することについて、ピュアグループの株主と合意しました。ピュアグループのビジネスモデルは、富裕層向けに特化して商品、サービスを提供するという特徴のあるもので、当社がこれまで取り組んできた先進国におけるスペシャルティ保険事業のさらなる拡大に資するだけでなく、当社の既存事業に対して高い補完性があります。今後ともこうした買収や内部成長力の強化に取り組み、グローバルな成長および分散の効いたポートフォリオの構築に努めてまいります。



■ 連結経営成績および通期業績見通し等 (■ 中間期 ■ 通期)

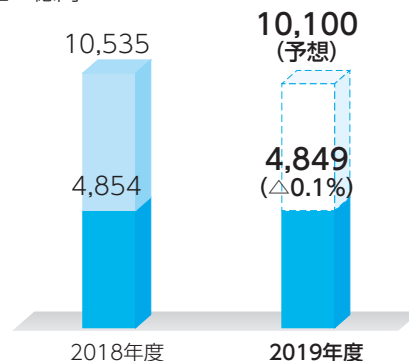
■ 正味収入保険料()内は前年同期比

単位：億円



■ 生命保険料()内は前年同期比

単位：億円



■ 中間期の連結経営成績

正味収入保険料について

正味収入保険料につきましては、国内損害保険事業で着実に営業を進展させた一方で、昨年度、再保険事業を売却した影響等により、若干の減収となりました。

生命保険料について

生命保険料につきましては、計上方法の一部変更^(※)による増加があった一方で、国内の法人向け事業保険の販売の減少があり、ほぼ昨年度と同水準となりました。

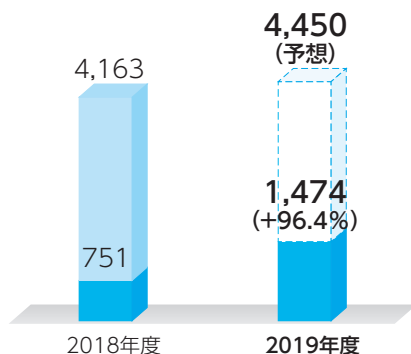
(※)デルファイ社の貯蓄型の保険商品について、2018年度末より保険契約が解約された場合に生命保険料を減額しない計上方法に変更しました。

■ 通期業績見通し(連結)

通期の親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、台風19号等の自然災害の影響はあるものの、昨年度対比では自然災害発生保険金の減少を見込むことから、増益予想としています。

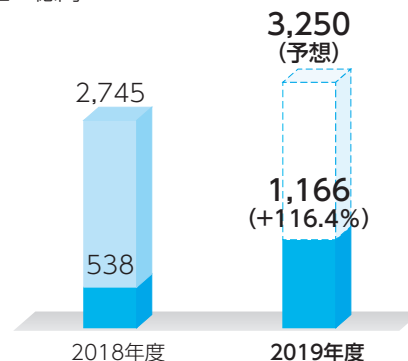
■ 経常利益()内は前年同期比

単位：億円



■ 親会社株主に帰属する当期純利益()内は前年同期比

単位：億円



経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益について

経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、台風21号等が発生した昨年度対比で、国内の自然災害に係る発生保険金が減少したこと、海外保険事業で順調に利益を確保したこと等により、大幅な増益となりました。

■ 株主還元について

当年度の中間配当につきましては、普通配当として1株につき95円をお支払いします。

当年度の期末配当につきましては、1株につき95円を見込んでおりますことから、当年度の年間の普通配当は1株につき190円となる見込みです。

また、従来、市場環境や事業投資機会等を総合的に勘案し、資本が適正な水準を上回る場合には、その水準の調整手段として主に自己株式の取得を実施してまいりました。当年度は、昨年度に引き続き、資本水準の調整手段として、自己株式の取得を実施することに加え、中間期に一時的な配当を実施します。一時的な配当としては、1株につき35円をお支払いします。

■ トピックス

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

東京海上日動は、損害保険カテゴリーにおける唯一の「東京2020ゴールドパートナー」として、安心で安全な大会の実現に貢献していきます。すべての人がいきいきと活躍できる「共生社会」をめざし、パラリンピックへの理解の向上やパラリンピックスポーツの支援に取り組んでいます。

▶ 東京2020大会の盛り上げを図る各種イベントを開催！

■ 各地のパラリンピックスポーツ大会を応援



■ パラリンピック競技6種目を体験できるキャラバンイベント「チャレンジ6」を開催



「チャレンジ6」競技6種目

- ・車いすバスケットボール
- ・車いすフェンシング
- ・車いすラグビー
- ・ゴールボール
- ・ボッチャ
- ・陸上競技

日本水泳連盟および水泳日本代表オフィシャルスポンサーとしての取り組み

本年7月に韓国・光州で開催された第18回世界水泳選手権大会終了後、アーティスティックスイミングと競泳のメダリストのみなさんが来社されました。

東京海上日動は、1989年より継続している公益財団法人日本水泳連盟の支援を通じて、世界の舞台に挑戦する選手たちをこれからも応援し続けます。



■ アーティスティックスイミング選手

左から、

乾 友紀子 選手

(ソロ・テクニカルルーティン銅メダル、ソロ・フリールーティン銅メダル)

足立 夢実 選手

(混合デュエット・テクニカルルーティン銅メダル、混合デュエット・フリールーティン銅メダル)

安部 篤史 選手(同上)



■ 競泳選手

左から、

大橋 悠依 選手

(女子400m個人メドレー銅メダル)

瀬戸 大也 選手

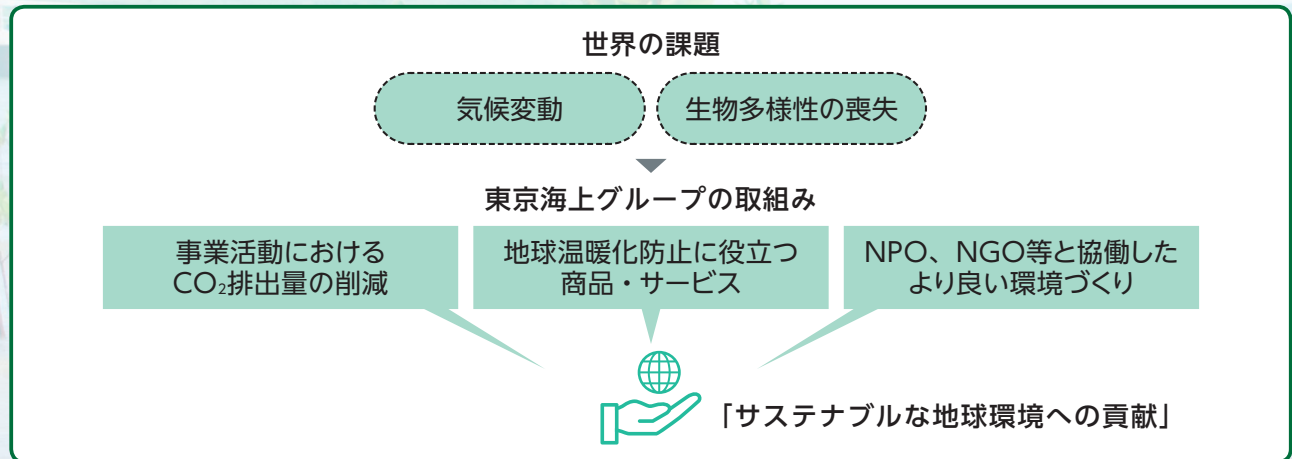
(男子400m個人メドレー金メダル、男子200m個人メドレー金メダル、男子200mバタフライ銀メダル)

松元 克央 選手(男子200m自由形銀メダル)

渡辺 一平 選手(男子200m平泳ぎ銅メダル)

20周年を迎えたマングローブ植林プロジェクト

▶ サステナブルな地球環境への貢献



▶ マングローブ植林プロジェクトの効果

1999年に開始したマングローブ植林プロジェクトは、本年20周年を迎えました。マングローブには、気候変動の脅威や災害被害を軽減し、海や陸の豊かさを守り、私たちの暮らしを安心・安全でサステナブルなものにする効果があります。本年8月には、20回目となる植林体験ツアーをマレーシアで行いました。



▶ マングローブ植林面積(1999年4月～2019年3月)

100m幅で新幹線の東京駅から新下関駅までの距離と、ほぼ同じです。



▶ マングローブ植林プロジェクトが生み出した価値

マングローブ植林プロジェクトにより、1999年4月から2019年3月末までの20年間で生み出した経済価値は、累計約1,185億円に達し、植林地域とその周辺に住む約141万人に影響を与えているとの試算結果を得ました(三菱総合研究所調べ)。



【配当金のお支払い等に関するお問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行株式会社：0120-232-711 (通話料無料)
受付時間 午前9時から午後5時まで(土日休日を除く)

To Be a Good Company



TOKIO MARINE

東京海上ホールディングス株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-0005

TEL(03)6212-3333(代表) <https://www.tokiomarinehd.com/>



UD
FONT



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915